奈良時代

名前

問1　律令制度において、平城宮跡などから出土した「木簡」と呼ばれる木の板には、各地から都へ送られた品物の種類や送り主の氏名が記されています。この資料から確認できる税のうち、成人男子の負担として、絹や布、魚介類といった各地の特産物を都まで運んで納める義務を何といいますか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 租　2. 庸　3. 雑徭　4. 調

問2　奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鋳造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）

1. 明　2. 唐　3. 元　4. 宋

問3　794年、桓武天皇は都を山背国（現在の京都府）に移し、平安京と名付けました。この遷都が行われた主な目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 東北地方での蝦夷（えみし）との戦いに専念するため、政治の中心地を一時的に東北地方に近い場所へ移した。
2. 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。
3. 墾田永年私財法によって広まった私有地（荘園）をすべて没収し、再び奈良の地で公地公民制を復活させるため。
4. 大宝律令を廃止して、中国の唐の制度に頼らない日本独自の新しい法典を平城京以外で作成するため。

問4　聖武天皇が東大寺を建立し、各国に国分寺・国分尼寺を建てるよう命じた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. 伝染病の流行や社会不安から国家を守るために、仏教の力を借りようとした
2. 地方の豪族を仏教によって統制し、徴税の仕組みを強化しようとした
3. 最澄や空海が唐から持ち帰った新しい仏教の教えを、全国に普及させようとした
4. 独自の文字や文学が発達し、日本独自の「国風文化」を形成しようとした

問5　律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）

1. 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。
2. 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。
3. 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。
4. 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。

問6　土地制度の歴史において、墾田永年私財法によって確立された、土地を個人の財産として永続的に保有できる権利を指す概念として適切なものを選びなさい。（2025年 大阪府公立入試 類似）

1. 国から一定期間のみ貸し与えられる権利
2. 一代限り認められる利用権
3. 収穫の一部を納めることを条件とした一時的な占有権
4. 期限の定めのない永久の所有権

問7　奈良時代の文化と政治に関連して述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 道元が伝えた禅宗の影響を受け、聖武天皇が東大寺に大仏を安置した。
2. 足利義満が金閣を建立した時期に、聖武天皇が全国に国分寺を建てた。
3. 藤原頼通が東大寺の大仏を造立し、華やかな国風文化の象徴とした。
4. 聖武天皇が東大寺を建立し、仏教による国家の安定を目指した。

問8　古代日本の国づくりの過程で整備された、刑罰に関する決まりである「律」と、政治の仕組みや人々の義務について定めた「令」から成る法体系について、そのモデルとなった国として正しいものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）

1. 清　2. 元　3. 唐　4. 宋

問9　奈良時代に成立した歴史書『日本書紀』には、当時の対外関係についても記されている。推古天皇の時代に、中国の隋へ使者として派遣されたと記述されている人物は誰か。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 小野妹子　2. 板垣退助　3. 近松門左衛門　4. 北条時宗

問10　奈良時代の租税制度の一つである「調」について、その負担の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 地方の特産品を都まで直接運んで納めるもので、その運搬にかかる費用や食料は民衆の自己負担であった。
2. 都での労役の代わりに布を納めるもので、都までの運搬費用は国が負担した。
3. 年間で60日を限度として、地方の国司の命令により土木工事などの労働に従事した。
4. 口分田の収穫から約3%の稲を納めるもので、主に地方の役所の倉庫に保管された。

問11　律令国家が地方を支配するために整備した「国司」と「郡司」という役職について、その選出方法や役割を正しく説明したものはどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 中央政府から派遣された官吏が国司として地方を統括し、そのもとで現地の有力な豪族が郡司に任命されて実務を担った。
2. 国司と郡司はともに現地の有力豪族による世襲制とされ、中央政府が関与せずに独自の徴税を行う権利を持っていた。
3. 現地の有力な豪族が国司として天皇から直接任命され、そのもとで中央政府から派遣された官吏が郡司として実務を監視した。
4. 国司と郡司はともに都の貴族から選ばれる決まりであり、数年ごとに全国の地方を交代で回ることで不正を防いだ。

問12　奈良時代の律令制において、男女ともに負担することが義務づけられていた、田の面積に応じて収穫された稲を納める税を何と呼びますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 雑徭　2. 庸　3. 租　4. 調

問13　奈良時代の律令国家において、一般の成人男子が負っていた税や義務に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. すべての税を絹や布に統一して納めることが定められ、稲や特産物の納入は免除されていた。
2. 惣と呼ばれる農民の自治組織を通じて、村単位でまとめて労役の免除を申請していた。
3. 特産物を納める調や労役に代わる布を納める庸など、重い税や労役の負担が課されていた。
4. 田の面積に応じて稲を納める租の負担が免除される代わりに、兵役のみが課されていた。

問14　奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、天皇や貴族から、九州の防備にあたった防人や農民といった庶民の歌まで幅広く約4500首が収録されているものは何ですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 新古今和歌集　2. 懐風藻　3. 古今和歌集　4. 万葉集